浜小学校校長室だより

らせん階段

2020/5/22(金)

校長　中原　寿男

NO.28

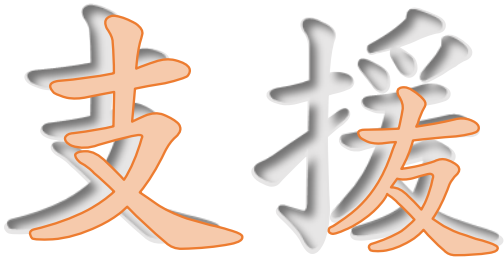
▽今日は山下先生からのメッセージです。

私は、中学校時代からハンドボールという競技をしていて、今も続けています。ハンドボールを知っている方はおわかりかと思いますが、ラグビーのような身体接触が激しく、フットサルを手で行うような球技です。野球やサッカーと違ってまだまだ目立っていないスポーツですが、競技人口は多いです。またバスケットボールと違い、相手の動き全身を使って阻止しないといけないので、大きなけがもよく起こります。空中でパス→シュートなどのアクロバティックな要素もあります。

「SASUKE」に出て活躍していた宮崎大輔さんが日本中の人たちに広めてくれました。俳優の西村和彦さんもマスターズの全国大会には毎年来られ、東国原英夫さんも経験されていました。

≪支援学級って？？≫

「支援」という漢字をよく見ると、その中に、「友」を「支える」という字が入っています。友だちを、他人を支えたすける…そんな素敵な意味を含んでいます。また似た漢字に「応援」という言葉があります。…



大勢の中では力が発揮できない人も、少人数では今まで隠れていてわからなかった素晴らしい力を持っていたという発見ができる人もいます。大人数では大人数の良さが、少人数では少人数の良さがあります。その子どもにとって、どっちが向いているんだろう？この困り感はどうしたらいいんかな？

そんなはてな？なことから始まります。

少しだけ視点を変えてみると、その子どもひとりひとりの良さがはっきりと見えてきます。

ひとりひとりの個性が違うように、支援学級では、ひとりずつその子にあわせた目標を設定し、定期的に評価し、課題を見直し、学校全体で考えて見守るようにしています。クラス担任や保護者の方ともいろいろ相談をしながら、毎日勉強を進めています。

「学校に行くのが楽しい！」って感じてもらえるような学級をめざして

みんなと過ごしていきたいなと思います。　どうぞよろしくお願いします(^^♪

一緒にいるから「仲間」なのではない。
一緒に生きるから「仲間」なのだ。

▽…フッと、いろんな教え子を思い出すことがあります。…３０年前に出会ったＡ君。…今はもう２児の父親です。いつも健在振りを示す年賀状をもらいます。

▽中学３年生の時に担任した生徒でした。さっそく“一肌脱いで”前期学級委員長に立候補してくれました。部活動もキャプテン、勉強もよくできました。…でも…６月の進路調査で彼は「就職」と書いてきました。（この時期に「就職」と書く生徒…それまで何百人と見てきましたが、いませんでした。）当然進学だろうと思っていたのでびっくりして理由を聞いてみました。…「いろいろ

な事情があって、生活も苦しく。…弟や妹たちもおり、長男の自分が高校へ行く余裕はありません」と。…奨学金などの話もし、できる限り進学をと勧めました。「でも、早く家計を助けたいから」…と。　▽そういう彼だから、その後もクラスの仲間とともにいろんな取り組みに積極的に参加しました。…２学期に入ってから、クラスで朝と放課後に「助け合い学習」をしました。自由参加で、来ても来なくても良い。Ａ君は？…毎回出席し、勉強が遅れている仲間に数学を懸命に教えていました。きっと心の中ではいろんな葛藤があったに違いありません。…だけど、彼は明るく仲間とともに卒業の日まで…。

▽電気関係の仕事に就いた彼。…苦難はありましたが、それらの壁を乗り越えるたびに、より強くたくましく成長していきました。…「手取りでは、先生より僕の方が多いですよ。」が同窓会での彼の自慢。…負けても気持ちがいい。…　▽中学３年生、…ともすれば、自分だけしか目に入らない状態になります。疎外感・孤独感…そんな時期だからこそ、仲間を大切にして、仲間と、共に生き、支え合い…そんなＡ君のような生徒が、どれだけ人望を集め、幸せに人生を歩めているか…そんな風に「支え合い、一緒に生きる仲間」を作って欲しいと。…

健康…

▽…実は、先日、歯にかぶせていた金属がとれてしまい、少々痛くなり、何年かぶりに歯医者さんに行きました。…「まあ、ちょちょっとかぶれ直すだけですぐにすむやろ」と高を括っていると（そう自分に思い込ませて強制的に安心しようと…）…ところが…穴のあいた歯をチョンチョンと突かれるとかなりの痛みが…と、同時に「痛い！」という表情をしてしまい…「…あ～、これは麻酔をかけて治療が必要ですね…」とお医者さん。…あまり「歯医者さんに行くのが好き！」っていう人はいないと思いますが、僕の場合は特に「痛み」にはとことん弱く…何かの治療を受ける時もお医者さんや看護師さんに「…それ…痛いですか…」と必ず聞いてしまうぐらいで…その中でも歯医者さんは特に…あのキュイーーンとかジーッとかシューとかいう治療器具の音を聞くだけで、過去の痛みがよみがえり…。

「麻酔の注射…痛いやろなぁ…」と滅入っていると…歯ぐきに何やらはさまれて？…「？？？」と思っていると、そのまましばらくお医者さんがいなくなり…数分後…いよいよ注射…それも普通の注射器ではなく、機械の注射器で…「？？？あれっ？…痛くない…えっ？？？」…「そうか！さっき、はさまれたの、麻酔注射をいたくないようにする麻酔注射の前の麻酔やったんや！」…思わず先生に「先生…時代は進歩していますねぇ！」…と。もちろん麻酔のおかげで、その後の「キュイーーン、ジーッ、シュー」の処置は痛みなく終了。…

▽しかし…「健康」って本当に大切ですね。…歯1本の痛みだけで気分が落ち込んでしまいます。…

実は…僕の左耳は聴こえません。…20年ほど前に「突発性・神経性難聴」というものになってしまい、ほぼ聴力を失ってしまいました。…聴こえなくなってしばらくは、本当にイライラばかり…「ステレオ」でなくなったので、音がどこで鳴っているのかがわからなく…また、左から話しかけられても聞き取れなくて「えっ？」と聞き直すシーンが多く（今は左から話される時は右耳をそちらの方向へ向けますが…）歯には歯の、耳には耳の…ほとんど気にも留めず、不調になった時にやっと気づくことがほとんどですが、…身体のいろんな器官が、それぞれの機能を発揮できていること…本当に大切です。…また、身体の健康はもちろんのことですが、「心の健康」…これも本当に大切です。（このことについてはこれからもこのらせん階段に書いていきます。）

▽健康診断はまだできていませんが、みなさんの歯や目、耳はどうでしょうか？…もし、不調があるならば早いうちに診察を受け、治療が必要ならしっかり治療してほしいと思います。

来週も元気に会いましょう。